

## 教授総会議事要旨

1. 日 時 2021年7月15日(金) 16時00分～17時40分

2. 方 法 ZOOMを使用したオンライン会議

### 3. 【出席者】

山梨所長、四柳病院長、中西副所長、岩間副所長、古川副所長

川口、石井、村上、西村、真鍋、武川、稲田、朴、真下、井元、渋谷、中井、武藤、山田、北村、  
長村、志田、南谷、谷口、岡田 各教授

鈴木、高橋、醍醐、伊川、藤橋、林 各特任教授

村松 客員教授

内丸、松田、鎌谷、合山 各連携教授

俣野 委嘱教授

齋藤、加藤、小檜山、西山、松尾、今井、山本、赤井、長村、片山、朴、井上、堤、池上、野島、  
平田、神里、一戸、佐藤、尾山、館林 各准教授

福井、安井、高橋(理)、湯地、長門石、張、田中(実)、小林、後藤 各特任准教授

### 【公用欠席者】

COBAN、岡部、瀬戸、藤堂 各教授

中内、清野、河岡、 各特任教授

岡部医学部長

瀬戸医学部附属病院長

内田 准教授

山崎、倉島、合田 各特任准教授

### 【欠席者】

三宅、柴田 各教授

田原、植松、田中 各特任教授

越川、長谷、國澤 各客員教授

久米、津本 各兼務教授

荒木、玉田 各委嘱教授

大田、折井、小沢、愛甲 各准教授

内田 特任准教授

立川 客員准教授

### 4. 資料

資料 1 「革新的診断技術応用基盤」社会連携研究部門特任准教授候補者研究業績要旨

資料 2 癌・細胞増殖部門廊下再生生物学分野准教授候補者研究業績要旨

資料 3 東京大学医科学研究所IMSUT-HLCセルプロセッシング施設内規(案)

資料 4 東京大学医科学研究所倫理審査委員会に関する内規

資料 5 令和3年度 医科学研究所収入・支出予算(案)

資料 6 「未来医療開発基金」研究課題依頼状

資料 7 研究データ保存のガイドラインにおける研究室の管理状況報告の提出について(依頼)

資料 8 電気使用量・料金報告書

資料 9 法人評価結果について（第3期中期目標期間4年目終了時）

資料 10 「研究評価に関するサンフランシスコ宣言（DORA）」に関するアンケート

○ 人事異動について

所長及び事務部長から、7月1日付け異動者の紹介があった。

○ 議事要旨（案）の確認について

所長から6月17日（木）開催の教授総会議事要旨（案）が諮られ、了承された。

[審議事項]

1. 「革新的診断技術応用基盤」社会連携研究部門特任准教授選考（推薦）について（資料1）
  - ・ 四柳病院長から、社会連携研究部門特任准教として選考委員会から所長に推薦のあった候補者について、配付資料に基づき説明いただき、審議の結果、次回の教授総会において、可否投票を行うこととなった。
2. 癌・細胞増殖部門老化再生生物学分野准教授選考（推薦）について（資料2）
  - ・ 村上教授から、老化再生生物学分野准教授として選考委員会から所長に推薦のあった候補者について、配付資料に基づき説明いただき、審議の結果、次回の教授総会において、可否投票を行うこととなった。
3. 先端医療研究センター造血病態制御学分野准教授選考（選考委員会立ち上げ）について
  - ・ 北村教授から、造血病態制御学分野准教授の必要性について説明いただき、審議の結果、選考委員会を立ち上げ、該当者の選考を開始することが承認された。
4. 東京大学医科学研究所IMSUT-HLCセルプロセッシング施設内規の制定等について（資料3）
  - ・ 中西副所長から、2度がけ2回目の本件について、配布資料に基づいた確認と、前回からの修正箇所や寄せられた意見等の説明があり、審議の結果、承認された。
5. 東京大学医科学研究所倫理審査委員会に関する内規の改正（資料4）
  - ・ 古川副所長から、本件は1度がけとしたい旨説明があり、審議の結果、承認された。
6. 令和3年度医科学研究所収入・支出予算（案）について（資料5）
  - ・ 岩間副所長から、配布資料に基づき説明いただき、審議の結果、承認された。
7. その他

[報告事項]

1. 令和3年度東京大学医科学研究所奨励賞受賞者の発表  
所長から、標記のことについて報告があった。
2. 「未来医療開発基金」研究課題提案のお願い（資料6）  
古川副所長から、配布資料に基づき報告があった。

3. 研究データ保存のガイドラインにおける研究室の管理状況報告の提出について（資料7）  
古川副所長から、配付資料に基づき報告があった。
4. 節電対策について（資料8）  
管理課長から、6月分の電力消費量等の状況について、配付資料に基づき報告があった。
5. その他
  - (1) 法人評価結果について（第3期中期目標期間4年目終了時）（資料9）
    - ・ 所長から、プロジェクトコーディネーター室が毎年実施している教育研究活動調書のデータが、これらの評価報告書に活用され、高い評価に結びつくことについて説明があった。
    - ・ 所長から、当該調査への協力への感謝とさらなる協力の依頼を行った。
  - (2) DORA について（資料10）
    - ・ 所長から、配布資料に基づき説明があった。
    - ・ 引き続き山田教授から、配布資料に基づき説明があった。
  - (3) 内丸連携教授から、学位審査、大学院入試等について報告があった。

以 上